

おだがいさま

odagaisama

第61号
平成27年
12月1日発行

「健康づくり」から「集まって見守り」へ
楽しみながら仲間づくり



三瀬地区では
「カタクリの花」のことを
「かたつつ」と呼び、
なじみ深い花として
愛されています。



「こんげ大勢集まるなんて
思ってたっけのお〜」



「体を左右にゆさぶってえ〜」

各地域で行われているサロン活動が、「集まって見守り」の視点から注目されています。

三瀬地区のサロン「かたつつの会」は、「なりげんき塾※」の卒業生を中心に24人（60～80代）の地域住民によって昨年12月に立ち上げられ、毎週月曜日に地域の介護施設で、仲間づくりと健康づくり活動を行っています。月に一度は体操の講師を招いて指導を受けるなど、積極的に活動されており、毎週開催という頻度の高い活動にもかかわらず、毎回18～22人程の参加者があり、参加率はおよそ8割にも上ります。

10月19日に行われたこの会で、代表の菅原昌子さんと石塚洋子さんは「決して無理はさせない、強制はしないこと」「おかげで楽しい雰囲気の中で気兼ねない仲間と健康づくりが続けられています。最近では互いに相談し合ったり、会に誘い合いながら見守ったり…。自分も見守られている、と安心できたり…。“集まって見守る”という心配りが、会の中で自然にみられるようになっていきます」と、地域づくりの視点からサロンの可能性について話してくださいました。

櫛引地域 ～下山添地区～

絆が育む地域づくり

～長年の知識と知恵が
人をむすぶ～



下山添地区区長
齋藤 壮さん

人とのつながり 何より大切！

下山添地区は八ブロック（①茶屋川原、②上通・長瀬、③中通・下通、④一里塚・道外、⑤グリーン・タウン北、⑥グリーン・タウン南、⑦中通団地、⑧茶屋川原団地）で構成されています。そのうちの四つのブロックが新興住宅地で、三十年前に分譲されたグリーン・タウン北と南、若い核家族世代が多い中通団地と茶屋川原団地からなっています。

地区としても福祉をより充実していくために、人とのつながりは何よりも大切にしていきたいと考えています。各ブロックの交流活動には、助成金を交付するなど支援を行っています。

次に紹介する活動団体のように、だれかれ構わず集まることができて、みんなのよりどころとなる場づくりを支援しながら、福祉的な活動の拡充を図っていければと考えています。

毎月集う居場所づくり

下山添お茶のみ
サロン世話人 佐藤美智子さん
佐藤 滝子さん

グリーン・タウンの高齢者の交流が少ないことを心配した当時の民生委員が、区長や有志で話し合いを重ね、毎

月集える場をつくりたいと平成二十二年十二月から、「二里塚お茶のみサロン」を始めました。



おしゃべりしながら...

活動内容は、毎月二十日の午前、グリーン・タウン小集会所でおしゃべりをしながら、日々の生活や健康維持に役立つ情報交換をしています。三年前からは福祉バスを利用し、施設や珍しいところを見学した後、海や山の景色を眺めたり食事をするバスハイクを何よりも楽しみとしています。

昨年からは始めたボランティア活動は、広場の掃除や箆袋を集めて整理し、資源回収に出すなど、自分たちができる事を行っています。

平成二十七年四月には、楽しい活動を広く知っていただき、仲間も増えればという思いで「下山添お茶のみサロン」へと改称しました。これからも高齢者の楽しみの場として続けて行きたいと思っています。

男性仲間の自由なつながり

いちこの会会計 堀内 昭勝さん

団塊の世代を中心とした男性の憩いの場「いちこの会」を、平成二十三年の秋から行っています。同じ地区の仲間同士で孫の話から政治や地区のことな

ど、お酒を飲みながら情報交換しています。

「いちこ」とは、その名の通り毎月十五日、主流メンバー十二人に加え、だれが来ても大歓迎をモットーに行っています。地区で気になることや困りごとなど依頼があれば、何でも引き受けます。

緑地の木の伐採や古くなった遊具の撤去、除雪など、男性ならではの力仕事を任されてきました。メンバーはほとんどが異業種で、それぞれが持つ技能を発揮しながら無理なく続けています。

代表者などは置かず、自発的かつ柔軟で、自由なつながりを大切に、今後も続けていければと思っています。

仲間とともに地区のためにを支援

市社協櫛引福祉センター

下山添地区では元町の昔ながらのつながりと、新興住宅地の新しいつながりがあります。各ブロック交流会や老若男女が集まる機会としてスポーツ大会などを行い、新たな住民同士の関係づくりに取り組んでいます。

住民が生きがいを持ちながら、仲間とともに地区のために取り組む姿は大きな地域力の一つといえます。

櫛引地域ではその他の地区でもそれぞれの実情に合わせた個性的な取り組みが進められています。地域とともに課題を共有しながら、課題解決に向け取り組んでいきます。

下山添地区は人口一、三〇〇人。櫛引地域で一番人口が多く、旧鶴岡市と隣接しており、工業団地や新興住宅地のある地区です。

櫛引地域は世界的にも有名な国指定の重要無形民俗文化財「黒川能」をはじめ、戦国勇将加藤清正公ゆかりの地と知られ、優れた文化と伝統が息づく地域として長く継承されてきました。また、県下有数の果樹多品種栽培の地域として、四季折々のフルーツを堪能することができ

ます。人口は七、四八〇人、高齢化率は三一・六％と高い推移で進行しています。

おたがいさまのまちづくりを 福祉功労者表彰

鶴岡市社会福祉協議会の福祉功労者表彰で13個人11団体が受賞されました。

◆表彰状

本 山 節 子 様 (鶴岡地域)
森 美津子 様 (鶴岡地域)
岩 垣 多美子 様 (鶴岡地域)
安 達 正 様 (鶴岡地域)
斎 藤 登美子 様 (鶴岡地域)
奥 山 茂 様 (鶴岡地域)
富 樫 廣 志 様 (鶴岡地域)
菅 澤 千 代 様 (鶴岡地域)
澁 谷 繁 子 様 (藤島地域)
叶 野 定 博 様 (羽黒地域)
主婦の店鶴岡店 様 (鶴岡地域)
善寶寺専門僧堂 様 (鶴岡地域)

◆感謝状

真如苑庄内支部 様 (鶴岡地域)
国際ソロプチミスト鶴岡 様 (鶴岡地域)
庄内なつメロ会 様 (鶴岡地域)
八沢会 様 (鶴岡地域)
鶴岡室内合奏団 様 (鶴岡地域)
鶴岡建設株式会社 様 (鶴岡地域)
丹 下 せい子 様 (鶴岡地域)
鈴 木 洋 子 様 (鶴岡地域)
加 藤 安 弘 様 (鶴岡地域)
曹洞宗山形県第三宗務所第九教区 (藤島地域)
曹洞宗山形県第三宗務所 (藤島地域)
三山大愛教会 様 (羽黒地域)

Welcome 江戸川区 ボランティアのみなさん

友好都市である東京都江戸川区のボランティアさんと鶴岡市のボランティアさんとは、隔年で互いに訪問し合いながら交流活動を行っています。平成19年に3人で始まったこの交流会は、それぞれの取り組み状況を報告し合い、互いの活動の励みにしながら、今では40名を超える交流会に発展しています。

今年は10月23～24日に江戸川区福祉ボランティア団体協議会22名のみなさんが来鶴し、市長を表敬訪問した後、庄内映画村の見学、羽黒宿坊での宿泊、翌日は五重塔、加茂水族館の見学など鶴岡の名所を訪れ鶴岡を満喫していました。

宿坊で行われた交流会では、大聖坊第13代当主星野文紘氏より「日本人にとっての、山の思想」と題した講演をいただいた後、鶴岡のボランティア活動発表を皮切りに互いの活動を発表し合い、都会でのボランティアの豊富さや、田舎ならではの地域のつながり、子育てに

ついてを学び合いました。

懇親会では精進料理を囲みながら「一同平座」という当主の声に「うけたもう」と応えたり、両手で抱えるほどの大杯に日本酒の一升瓶を逆さまにして御神酒を酌み、参加者で回し飲みをしたり、独特な山伏の慣わしを体験しながら、鶴岡の文化にも理解を深めた交流会になりました。



終始なごやかな雰囲気で行われた交流会

鶴岡市の総合防災訓練でボランティアセンター設置訓練を実施!!

いざ!! という“その時”に備えて

鶴岡市が合併して以来、初めて鶴岡地域以外で行われる鶴岡市総合防災訓練が10月18日藤島地域で実施されました。この訓練は、大雨により藤島川氾濫の恐れから、避難勧告が出され、避難所が開設されたという想定で行われたことから、市社協では、実際に床上、床下浸水の被害が発生したことを想定し、県内外から支援に来ていただくボランティアと被害に遭い支援を希望する住民のニーズを結びつけ、スムーズに復旧作業を進めるための「災害ボランティアセンター」設置運営訓練を行いました。

設置するまでに必要な検討事項や、実際に立ち上がった際の人の流れなど、頭と体を使って動いてはみるものの、本当の災害では想像を超える対応が必要になると考えられます。

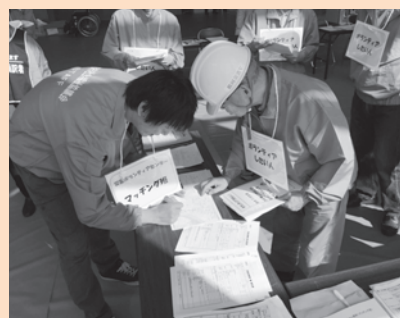
いざ、という時のために、他地域で起きた災害を教訓にして鶴岡市でも起こりうる災害に備えるとともに、災害ボランティアセンターの設置運営が必要になった時のために、本番に活かされるマニュアルを作成していきます。



災害発生直後をシミュレーション
初動が重要!!



被災者からのニーズはていねいに
聴き取ります



かけつけてくれたボランティアを
ニーズにつなげます



ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
(平成27年9月6日から平成27年11月5日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ

- ・庄内なつメロ会 様 30,000円
- ・八沢会 様 50,000円

◎藤島福祉センターへ

- ・藤島カラオケ愛好会 様 20,000円
- ・曹洞宗山形県第三宗務所 第九教区会 様 40,000円

◎羽黒福祉センターへ

- ・田川建設労働組合羽黒支部 様 7,000円

◎朝日福祉センターへ

- ・田川建設労働組合朝日支部 様 21,100円

★東日本大震災の避難者支援事業へ

- ・神田 寿子 様 5,000円

★地域福祉センターなえづへ

- ・(有)ヤママル成澤水産 様 ホタテ10kg
- ・(有)久上工藤商店 様 豚バラ肉1kg

★高齢者福祉センターおおやまへ

- ・山本 良伸 様 書道用具(半紙2000枚・墨汁1ダース)一式

★御引すこやかセンターへ

- ・櫛引地域婦人会 様 タオル400枚

★もみじが丘へ

- ・伊藤 春江 様 生地16枚
- ・齋藤 節子 様 生地250枚
- ・秋山農園 様 かぼちゃ8個
- ・(有)ヒエヌキ 様 玉ねぎ65個

★くしびき西部保育園へ

- ・佐藤 保雄 様 こいのぼり一式

★鶴岡南部児童館へ

- ・木川 篤忠 様 玩具各種

おだがいさま

第61号
平成27年12月1日発行
発行部数 49,300部



編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市泉町5番30号 (にこ♥ふる2階)

TEL 0235-24-0053 FAX 0235-23-9110

ホームページ <http://www.shk01.jp/>

鶴岡福祉センター TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

櫛引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。